

コード	102020103
記入日	H26.6.6

課コード	105
課名	総合政策課
課長名	石田 信明
担当者	石田 卓也

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	長崎県立大学との相互協定事業
----------	----------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 19 年度 ~ 平成 26 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	2
施策コード	102	施策名称	しまの交流ネットワークづくり	項コード	1
基本事業コード	10202	基本事業名称	交流ネットワークの形成	目コード	6
事務事業コード	1020201	事務事業名称	交流推進事業費	細目コード	1321
関連計画		法令・条例規則等			

計画 (PLAN)		※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。					
対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標					
(対象1) 職員		(対象指標1) 450人 (H26.3.31現在)					
(対象2)		(対象指標2)					
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
(全体)		(指標名称)		(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****		*****		*****	*****	実績協定事業数÷ 計画協定事業数	*****
・平成25年度当初、当該年度協定事業の調整を図り、2事業を実施した。		① (達成率分析)		2事業	100%	計画通り、県立大学と事務調整を行い、2事業実施した。 (2事業ともに次年度へ継続)	平成25年度
→事業名		② (達成率分析)					
①住民の健康増進と生活習慣病予防のための運動普及事業							
②佐世保港を起点とする観光マーケティング事業							
→主な業務							
①各課への取組の周知と大学との調整							
②協定事業2事業の窓口、調整							
③第7回推進会議（報告会）の開催							
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
		(指標名称)		(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****		*****		*****	*****	各事業を担当職員により100P～0Pで評価した平均値	*****
・大学の持つ専門知識、技術、新しい情報、感性などを活用し、本町の抱える地域課題の解決、振興策、福祉の充実等に関して、地域づくり、施策に反映させることを目的としている。		① (達成率分析)		2事業	80P	50P×0事業、80P×2事業、100P×0事業	平成25年度
・長崎県立大学との相互協力協定事業に基づく事業実施							
(毎年度に当該年度の協定事業を協議決定)							
・協定事業に要する費用は、事業に応じて算出し負担金として支出							

実施 (DO)		※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。									
	単位	全体計画		24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降	
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	① 事業	28	28	26	2	2					
	②										
成果指標	① P	600	451	371	100	80					
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	8,106	8,106	6,406	1,700	1,700					
直接事業費 A	千円	3,906	3,906	2,906	1,000	1,000					
人件費 B	千円	4,200	4,200	3,500	700	700					
内訳	従事職員数	人	0.6	0.6	0.5	0.1					
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円	2,950	2,950	1,950	1,000	1,000				
	その他	千円									
一般財源	千円	5,156	5,156	4,456	700	700					

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	大学の先進の技術・情報・ノウハウを活用できるため妥当性を有する。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	評価結果においては2事業とも一部達成であったが、課題、改善する箇所を把握することができ、次年度につながる取組、活動となり一定の成果を得ることができた。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	町、大学側との更なる合理的な進め方等の余地は残っていると考える。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	2事業ともに、次年度に展開できる取組となり、結果は得られているものとする。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理由	本町に設置しているTV会議システムを活用し、打ち合わせなどを実施することで、旅費等の費用を抑えることは可能である。	

改善 (ACTION)

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	TV会議システムの活用による大学と担当課との打合せの充実やフォローアップを行うなど、総合的な支援を行い取組を強化していく必要がある。
	今後、課題に向けた改善策	引き続き、町の政策課題の解決に向け、大学の研究成果や人材等の積極的な活用等を推進し、町、大学が一体となって連携強化を図っていく。

2次評価	相互協定の事業が本町の施策にどのように反映しているかの検証をし、本町各課が抱える課題等を把握して問題解決能力や政策立案能力の向上に努めること。
------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td>このまま事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業内容を見直して事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を見直して事業を継続</td> </tr> </table>	1次	2次	3次		●	●		このまま事業を継続				事業内容を見直して事業を継続				事業費を見直して事業を継続	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の休止</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の廃止</td> </tr> </table>	1次	2次	3次					類似事業と整理統合				事業の休止				事業の廃止
	1次	2次	3次																															
	●	●		このまま事業を継続																														
				事業内容を見直して事業を継続																														
			事業費を見直して事業を継続																															
1次	2次	3次																																
			類似事業と整理統合																															
			事業の休止																															
			事業の廃止																															

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。